



DIST.NO.2530

# ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA

## WEEKLY REPORT

2013-14 年度 福島ロータリークラブ会報 vol.28

■例会日/2014年1月23日(木)→25日(土)に振替 ■開会点鐘/15:00

■会 場/福島学院大学駅前キャンパス2F 217号・208号

■1月は「ロータリー理解推進月間」です

福島ロータリークラブホームページ  
http://www.f-rotary.com/

【事務所】福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30 【例会場】ホテル辰巳屋 8F  
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

2013-14 年度 RI 第 2530 地区 県北第一分区

## 新会員セミナー・ソングリーダー研修 新し続要覧解説



### 第 28 回 会長挨拶

2013-14年度 会長  
**紺野 晴郎**

本日は野地利雄ガバナー補佐様ご指導の下、県北第一分区新会員セミナーを開催

できましたことは誠に光栄であり、ロータリー理解推進月間にふさわしい講師の先生と講義内容は、皆様方へ満足のいく内容であることを自負いたしております。

1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生して以来110年が過ぎ、脈々と奉仕の精神が引き継がれ、これからも世界平和の為に、より発展させていかねばならないと思っております。

今日は新会員の方が多いので、私のロータリークラブ勧誘時のお話をさせていただきます。「ロータリークラブとは何ですか?」と聞かれたら「心のオアシス」と答えています。砂漠の中のオアシスには人間だけでなくいろいろな動物や植物などが集まり、そして、ひと時を癒してくれるユートピアがそこにあります。ロータリーの原点は仕事など日常の戦いに疲れ、また、いろいろな助

言を求める人達が集まり解決していく心の拠り所であったように、いろいろな国の人々といろいろな職業の人たちが清く正しく美しく理想の社会を求めて、200以上の国と地域に広がり幅広い奉仕活動を行っております。

皆様もかけがえのない大切なものがおありかと存じます。人から見れば価値のないものでも、本人にとっては金銭では計りえない大切なもの、私にとってはロータリーが大切な宝物です。今日は皆様へ、その大切なものの一部を紹介します。きっと人生において素晴らしい宝物になると自負しております。紹介して頂ける先生は2530地区の頂点になられた阿久津肇バスターガバナーと、今一番輝いている次期第一分区ガバナー補佐の久米允彦様、そして、ソングリーダーとしては2530地区で右に出る人がいない渡邊又夫福島RCバスター会長です。

今年度のRIテーマは「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」です。第2530地区テーマは「未来の子供たちの輝く笑顔のために」です。東日本大震災を忘れず、福島を心の豊かさとの温かさを育てる環境にしたい。そして、ロータリークラブの奉仕活動を通じて、本日のセミナーは感動の機会や、生きていることの素晴らしさと幸福を実感できるステージを提供するセミナーであることをお誓い申し上げ、会長挨拶といたします。



新会員セミナー  
／福島学院大学駅前キャンパス

司 会／ホストクラブ幹事	日比野恒夫	
15:00	開会点鐘 国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」	ホストクラブ会長 ソングリーダー
	「四つのテスト」唱和 会長あいさつ	職業奉仕副委員長 ホストクラブ会長
	講師及び参加クラブ紹介 ガバナー補佐あいさつ	ガバナー補佐 ガバナー補佐
15:15～16:00	講義“ようこそロータリーへ” RI第2530地区バストガバナー	阿久津 肇 (福島RC)
16:05～16:10	県北第一分区次期ガバナー補佐より	久米 允彦 (福島西RC)



分科会

《ソングリーダー研修》217号室 16:10～16:50	司 会／菅野 晋 講 師／福島RCソングリーダー研修委員 渡邊 又夫・丹治 正博・菅野 晋 坪井 大雄・岩山 知弘・渡辺 正樹 高橋 聡・安藤健次郎 出席者／新会員・ソングリーダー・希望者	《新し続要覧解説》208号室 16:10～16:50	司 会／坪井 大雄 講 師／阿久津 肇バストガバナー 出席者／会長・幹事 ロータリー情報委員 次年度会長・幹事 希望者
---------------------------------	---	-------------------------------	---



16:50	あいさつ及び講師へ記念品贈呈 閉会点鐘 諸事お知らせ	ガバナー補佐 ホストクラブ会長 ホストクラブ幹事	野地 利雄 紺野 晴郎 日比野恒夫
-------	----------------------------------	--------------------------------	-------------------------



懇親会  
／石林

17:00～18:30	司 会／ホストクラブ親睦委員	坪井 大雄
開会のことば	ホストクラブ会長エレクト	丹治 正博
乾 杯	バストガバナー	阿久津 肇
懇 親		
「手に手つないで」	ソングリーダー	研修受講者
閉会のことば	ホストクラブ副会長	幡 研一

参加者一覧 (敬称略)

〔講師〕	RI第2530地区バストガバナー	阿久津 肇 (福島RC)	県北第一分区次期ガバナー補佐	久米 允彦 (福島西RC)
〔講師／ソングリーダー〕		渡邊 又夫 (福島RC)		
県北第一分区ガバナー補佐		野地 利雄 (福島南RC)	県北第一分区幹事	黒羽 好夫 (福島南RC)
二本松RC	幹 事 菅沢 義雄	次期会長 野地トヨ子	新会員 渡辺 忍	
	会 員 杉島 洪徳			
福島南RC	会 長 大野 順道	幹 事 金子 親房	R情報委員長 紺野 仁昭	
	次期会長 高橋 勇雄	次期幹事 吉田 和義	会 計 小柴 幸夫	
	ソングリーダー 吉田 仁一	新会員 菊地 和宏、渡邊 和裕、佐藤 朋也、尾形 博幸、関口富美男		
	ガバナー補佐 野地 利雄	分区幹事 黒羽 好夫		
福島西RC	会 長 鈴木 悦夫	幹 事 齋藤 直樹	次期G補佐 久米 允彦	



諸悪莫作  
衆善奉行



	理事	佐藤 宗弘	次期会長	高梨 哲男	次期幹事	佐藤 未吉
	新会員	富塚 新吉、大越 章久				
福島中央RC	会長	坂本 和司	幹事	大出 隆秀	R情報委員	佐藤 和子
	次期幹事	丹野 良一	ソングリーダー	佐藤 龍史	新会員	尾形 光雄、鴨田 亮
二本松あだたらRC	幹事	中田 凉介	新会員	阿部 佳文、藤井 利則、石澤 崇		
福島21RC	会長	阿部 正美	幹事	伊藤 淳一	次期会長	木村 幸二 次期幹事 甚野 理亮
	新会員	野崎 正広、橋内美智夫				
福島RC	会長	紺野 晴郎	幹事	日比野恒夫	次期会長	丹治 正博 次期幹事 坪井 大雄
		阿久津 肇、今井 吉之、加藤 義朋、後藤 忠久、佐藤 英典、増子 勉、安藤健次郎、菅野 晋、				
		今井理基夫、相良 元章、茂田 士郎、田沼紀美子、土屋 敦雄、高橋 聡、箱岩 偉、松浦 敬裕、				
		渡邊 又夫、菅沼 裕、加納 武志、浦部 博、佐藤 武彦、森川 英治、幡 研一				



## ガバナー補佐あいさつ

県北第一分区ガバナー補佐  
**野地 利雄** 様



この度は土曜日の大変お忙しい中、ロータリーの「新会員セミナー及びソングリーダー研修」にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。第一部として、今年もまた、講師に阿久津先生をお迎えし、ご指導頂く事になっております。

今年は特にロータリーのバイブルである、先生が編集して作りました「ようこそロータリーへ」の解説を行って頂きます。今までになく大変充実したプログラムとなっておりますので、このセミナーを十分にご理解頂き、常日頃の奉仕活動の基になることをご期待申し上げます。特に若い会員の方々には、次世代の素晴らしいロータリー活動にするため、またお願いするためにも、

これはとても重要な研修であると思っております。ロータリーならではの用語・考え方が数多くありますので、質問もどんどんしてください、期待しております。

また第二部は、会場を移しての懇親会を開催致します。第一分区内の多くの会員の方々と交流・親睦の機会となれば幸いです。各クラブの交流の機会にもなるかと思えます。横の繋がりも大変重要な活動になりますので、積極的に色々な方と交流して頂きたいと思えます。

最後になりますが、1月19日(日)、22日(水)の新聞に小高RC、相馬東RCの解散の記事がありました。何か残念であります。3年間の時間があつたのですから、もう少し方法があつた様な気がします。あらためて皆様方に良くロータリーを学び、ロータリーならではの用語・考え方を知って頂ければ幸いです。

この会の開催に当たり、福島RC紺野会長始め福島RCの皆さんに感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

## ロータリーソングよもやま話

丹治 正博 会員

### ロータリーソングの位置づけ

例会にロータリーソングは欠かせないものですが、ロータリーソングはなぜ歌うのでしょうか。クラブ定款にも、細則第13条「議事の順序」(例会次第)にもロータリーソングを歌えとは書いてありません。

### ロータリーソングのおこり

ロータリーの100年を越える歴史において、「歌を歌うこと」を始めた人物は、1905年にロータリーが創立した時に創始者ポール・ハリスら最初の会員4人に次いで5番目にロータリーに入ったハリイ・ラグルスでした。

1907年、ロータリー誕生後2年目にポール・ハリスがシカゴロータリークラブ第3代目の会長になった頃、ささいな意見の相違が次第に大きくなり、シカゴクラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起こりました。親睦派と奉仕派との間に意見が対立し、時の親睦委員長の医師ウィリアム・ネフは、「このままではクラブは崩壊する。君が毎週立ち上がり、楽しく歌ってこの危機を救ってくれ」と印刷屋のハリイ・ラグルスに懇願します。ラグルスは当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌って以来、クラブの団欒は甦り、これが何年も続いて、例会での合唱はロータリーの伝統となりました。

## 日本のロータリーソング

日本最初のロータリークラブは、1920年創立の東京ロータリークラブですが、初めの頃は「ロータリーソング」として英語のまま歌っていたそうです。

やがて、日本語によるロータリーソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我等の生業」が昭和10年(1935年)に京都における地区年次大会において日本語ロータリーソング入選作として発表されました。戦争中は「君が代」の斉唱が始まりました。昭和24年(1949年)日本は国際ロータリーに復帰しますが、昭和26年(1951年)にロータリーソングが募集され、「手に手つないで」が作られました。これは、昭和27年(1952年)7月から、日本のロータリーが2つの地区に分かれるという事態にあたり、これからも友情を確かめ合い、手に手つないでいこう、と誓い合った歌です。「それでこそロータリー」も古く、昭和28年(1953年)に誕生しています。

### ロータリーソングのローテーションは

#### 福島RCにおけるロータリーソング歌唱のきまり

- 月初め 国歌斉唱 第1週 奉仕の理想
- 第2週 我等の生業 第3週 それでこそロータリー
- 第4週 福島ロータリークラブの歌

※第5週がある場合には、第5週に福島ロータリークラブの歌を歌う、第4週は奉仕の理想、又は我等の生業を歌う